

計画作成年度	令和 4 年度
計画主体	高知県大川村

大川村鳥獣被害防止計画

<連絡先>

担 当 部 署 名 大川村役場むらづくり推進課
 所 在 地 高知県土佐郡大川村小松 27 番地 1
 電 話 番 号 0887-84-2211
 F A X 番 号 0887-84-2328
 メールアドレス muradukuri@vill.okawa.lg.jp

- (注) 1 共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には（代表）と記入する。
- 2 被害防止計画の作成に当たっては、別添留意事項を参照の上、記入等すること。

1. 対象鳥獣の種類、被害防止計画の期間及び対象地域

対象鳥獣	サル・イノシシ・シカ・カワウ・アオサギ・ノウサギ
計画期間	令和5年度～令和7年度
対象地域	大川村

(注) 1 計画期間は、3年程度とする。

2 対象地域は、単独で又は共同で被害防止計画作成する全ての市町村名を記入する。

2. 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止に関する基本的な方針

(1) 被害の現状（令和3年度）

鳥獣の種類	被害の現状	
	品 目	被害数値
サル	野菜	被害金額：約 115 千円 被害面積：約 23a
イノシシ	野菜・いも類	被害金額：約 65 千円 被害面積：約 13a
シカ	なし	被害金額：約 0 千円 被害面積：約 0 a
カワウ・アオサギ	なし	被害金額：約 0 千円
ノウサギ	なし	被害金額：約 0 千円 被害面積：約 0 a

(注) 主な鳥獣による被害品目、被害金額、被害面積（被害面積については、水産業に係る被害を除く。）等を記入する。

(2) 被害の傾向

本村は多くの農家が小規模であり、65 歳以上の高齢者のみの世帯が多いため、個人での対応が困難なケースが多い。被害規模は、有害鳥獣駆除依頼書・各種補助金申請書類、その他農家からの聞き取り等において算出している。そのため、鳥獣の種類によって数値上は被害が生じていないものもあるが、実際の被害はこれを大きく上回るものと推測され、耕作意欲の減少など、精神的な被害も大きい。

◇サル 被害場所は村内全域に及んでおり、令和3年度の被害数値は最も大きい。人慣れも進んだ状況にあり、被害対策に多くの費用と労力を要することから被害対策が進まない場合が多い。

◇イノシシ

土を掘り起こすため、田畑だけでなく路側法面への被害も生じている。駆除頭数は増加傾向にあり、軒先や庭といった家屋に極めて近い箇所まで出没するようになっていることから、住民の不安感が募る要因となっている。

◇シカ
作物や苗木の食害が主な被害である。他の鳥獣よりも駆除頭数が非常に多く、また増加傾向にあることから、生息頭数の増加に駆除が追い付いていない状況があると考えられる。
◇カワウ・アオサギ
生息域が拡大傾向にあるようで、村内においても早明浦ダム湖面や本流各所において散見されている。放流をして生息数を増やそうとしているアユやアメゴといった川魚が食害に遭っている。
◇ノウサギ
近年被害が増加傾向にあり、特に苗木の食害等による林業への被害が大きい。

- (注) 1 近年の被害の傾向（生息状況、被害の発生時期、被害の発生場所、被害地域の増減傾向等）等について記入する。
- 2 被害状況がわかるようなデータ及び地図等があれば添付する。

(3) 被害の軽減目標

指標	現状値（令和3年度）	目標値（令和7年度）
サル	被害金額：約 115 千円 被害面積：約 23a	被害金額：約 80 千円 被害面積：約 16a
イノシシ	被害金額：約 65 千円 被害面積：約 13a	被害金額：約 45 千円 被害面積：約 9a
シカ	被害金額：0 千円 被害面積：0a	被害金額：0 千円 被害面積：0a
カワウ・アオサギ	被害金額：0 千円 被害面積：0a	被害金額：0 千円 被害面積：0a
ノウサギ	被害金額：0 千円 被害面積：0a	被害金額：0 千円 被害面積：0a

- (注) 1 被害金額、被害面積等の現状値及び計画期間の最終年度における目標値を記入する。
- 2 複数の指標を目標として設定することも可能。

(4) 従来講じてきた被害防止対策

	従来講じてきた被害防止対策	課題
捕獲等に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・嶺北地区猟友会大川支部に捕獲と被害防止を委託（委託費年間 150,000 円） ・捕獲報奨金制度 サル：1 頭 16,000 円 	<ul style="list-style-type: none"> ・狩猟従事者の高齢化と減少 ・報奨金制度は生息頭数が把握できていないために、全体的な被害抑制に繋がっているのか不明

	シカ：1頭 15,000 円 （猟期 8,000 円） イノシシ：1頭 7,000 円 （猟期 0 円） ・狩猟免許取得経費への補助 ・捕獲檻やくくり罠、その他捕獲に資する機材貸し出し	
防 護 柵 の 設 置 等 に 関 する 取 組	・農家の猿害等対策防護柵設置に対する補助金支援（関連資材費の 85/100 を補助）	・サルに有効な対策資材設置ノウハウの不足 ・設置に係る個人の作業負担

- （注） 1 計画対象地域における、直近 3 ヶ年程度に講じた被害防止対策と課題について記入する。
- 2 「捕獲等に関する取組」については、捕獲体制の整備、捕獲機材の導入、捕獲鳥獣の処理方法等について記入する。
- 3 「防護柵の設置等に関する取組」については、侵入防止柵の設置・管理、緩衝帯の設置、追上げ・追払い活動、放任果樹の除去等について記入する。

（５）今後の取組方針

村内で最も大きな被害を出しているサルを中心に防護柵の設置啓発を実施する。狩猟免許取得を推進し、従事者の確保に努める。近隣市町村（大豊町・本山町・土佐町）との連携によるシカ連携捕獲（毎年 10 月）を実施する。

- （注） 被害の現状、従来講じてきた被害防止対策等を踏まえ、被害軽減目標を達成するために必要な被害防止対策の取組方針について記入する。

3. 対象鳥獣の捕獲等に関する事項

（１）対象鳥獣の捕獲体制

鳥獣保護管理員・猟友会に対し、予察捕獲計画に基づき駆除を依頼。

- （注） 1 鳥獣被害対策実施隊のうち対象鳥獣捕獲員の指名又は任命、狩猟者団体への委託等による対象鳥獣の捕獲体制を記入するとともに、捕獲に関わる者のそれぞれの取組内容や役割について記入する。
- 2 対象鳥獣捕獲員を指名又は任命する場合は、その構成等が分かる資料があれば添付する。
- 3 捕獲等を推進する上で、鳥獣被害対策実施隊員にライフル銃を所持させる必要がある場合には、そのことについて記入する。

(2) その他捕獲に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
5	サル イノシシ シカ カワウ・アオサギ ノウサギ	村民から被害報告があった場合には、予察捕獲計画とは別に猟友会に駆除を依頼する。
6	サル イノシシ シカ カワウ・アオサギ ノウサギ	村民から被害報告があった場合には、予察捕獲計画とは別に猟友会に駆除を依頼する。
7	サル イノシシ シカ カワウ・アオサギ ノウサギ	村民から被害報告があった場合には、予察捕獲計画とは別に猟友会に駆除を依頼する。

(注) 捕獲機材の導入、鳥獣を捕獲する担い手の育成・確保等について記入する。

(3) 対象鳥獣の捕獲計画

捕獲計画数等の設定の考え方
<p>◇サル 1年を通して予察捕獲期間を設け、捕獲計画数は50頭に設定する。</p> <p>◇イノシシ 予察捕獲期間を設け、捕獲計画数は予察期間20頭、猟期60頭に設定する。</p> <p>◇シカ 予察捕獲期間を設け、捕獲計画数は予察期間70頭、猟期90頭に設定する。</p> <p>◇カワウ・アオサギ 1年を通して予察捕獲期間を設け、捕獲計画数はカワウ50羽・アオサギ30羽に設定する。</p> <p>◇ノウサギ 1年を通して予察捕獲期間を設け、捕獲計画数は50羽に設定する。</p>

(注) 近年の対象鳥獣の捕獲実績、生息状況等を踏まえ、捕獲計画数等の設定の考え方について記入する。

対象鳥獣	捕獲計画数等		
	5年度	6年度	7年度
サル	50(予察)	50(予察)	50(予察)
イノシシ	20(予察) 60(猟期)	20(予察) 60(猟期)	20(予察) 60(猟期)
シカ	70(予察) 90(猟期)	70(予察) 90(猟期)	70(予察) 90(猟期)
カワウ	50(予察)	50(予察)	50(予察)
アオサギ	30(予察)	30(予察)	30(予察)
ノウサギ	50(予察)	50(予察)	50(予察)

(注) 対象鳥獣の捕獲計画数、個体数密度等を記入する。

捕獲等の取組内容
<p>わなについてはくくりわなによる捕獲を中心に行う。</p> <p>予定時期は、イノシシ・シカについては4月1日～10月31日。</p> <p>サル・カワウ・アオサギ・ノウサギについては4月1日～翌3月31日</p> <p>予定場所は国有林を除く村内全域。</p>

- (注) 1 わな等の捕獲手段、捕獲の実施予定時期、捕獲予定場所等について記入する。
- 2 捕獲等の実施予定場所を記した図面等を作成している場合は添付する。

ライフル銃による捕獲等を実施する必要性及びその取組内容
特になし

- (注) 鳥獣被害対策実施隊員にライフル銃を所持させて捕獲等を行う場合には、その必要性及び当該鳥獣被害対策実施隊員による捕獲手段、捕獲の実施予定時期、捕獲予定場所等について記入する。

(4) 許可権限委譲事項

対象地域	対象鳥獣
該当なし	

- (注) 1 都道府県知事から市町村長に対する有害鳥獣捕獲等の許可権限の委譲を希望する場合は、捕獲許可権限の委譲を希望する対象鳥獣の種類を記入する（鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号。以下「法」という。）第4条第3項）。
- 2 対象地域については、複数市町村が捕獲許可権限の委譲を希望する場合は、該当する全ての市町村名を記入する。

4. 防護柵の設置その他の対象鳥獣の捕獲以外の被害防止施策に関する事項
 (1) 侵入防止柵の整備計画

対象鳥獣	整備内容		
	5 年度	6 年度	7 年度
サル イノシシ シカ	村内 1 集落 金網柵・複合柵等	村内 1 集落 金網柵・複合柵等	村内 1 集落 金網柵・複合柵等

- (注) 1 設置する柵の種類、設置規模等について記入する。
 2 侵入防止柵の設置予定場所を記した図面等を作成している場合は添付する。

(2) その他被害防止に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
5 年度	サル イノシシ シカ カウ・アサギ ノウサギ	補助制度の周知と被害状況調査
6 年度	サル イノシシ シカ カウ・アサギ ノウサギ	補助制度の周知と被害状況調査
7 年度	サル イノシシ シカ カウ・アサギ ノウサギ	補助制度の周知と被害状況調査

- (注) 侵入防止柵の管理、緩衝帯の設置、里地里山の整備、追上げ・追払い活動、放任果樹の除去等について記入する。

5. 対象鳥獣による住民の生命、身体又は財産に係る被害が生じ、又は生じるおそれがある場合の対処に関する事項

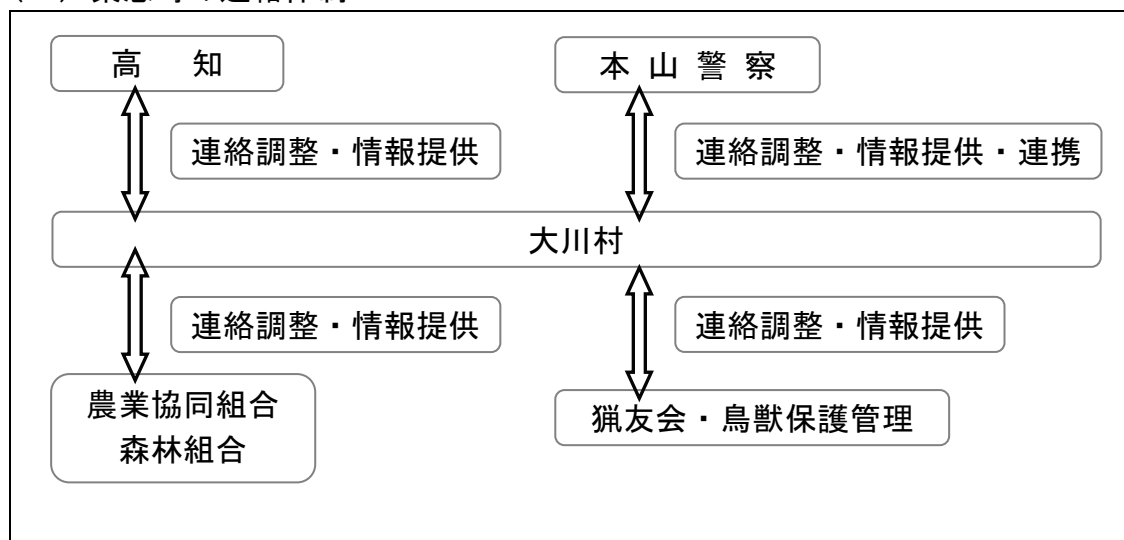
(1) 関係機関等の役割

関係機関等の名称	役割
嶺北地区猟友会	地域巡回、情報収集・提供、捕獲班の調整・出勤
鳥獣保護管理員	地域巡回、情報収集・提供

農業協同組合	地域巡回、情報収集・提供
森林組合	地域巡回、情報収集・提供
大川村	各関係機関との連絡・調整、情報収集・提供
本山警察署	地域巡回、情報収集・提供、警戒、広報
高知県	各関係機関との連絡・調整、情報収集・提供

- (注) 1 関係機関等には、都道府県、警察、市町村、鳥獣被害対策実施隊、猟友会等の名称を記入する。
- 2 役割欄には、緊急時又は平常時において、各関係機関等が果たすべき役割を記入する。
- 3 対象鳥獣による住民の生命、身体又は財産に係る被害が生じ、又は生じるおそれがある場合の対処に関して、規程等を作成している場合は添付する。

(2) 緊急時の連絡体制



- (注) 緊急時の各関係機関等の連絡体制及び連絡方法等をフロー図等により記入する。

6. 被害防止施策の実施体制に関する事項

(1) 協議会に関する事項

協議会の名称	大川村鳥獣被害防止対策協議会
構成機関の名称	役割
大川村役場	協議会事務局
嶺北地区猟友会大川支部	協議会構成団体・駆除と捕獲
鳥獣保護管理員	協議会構成員・駆除と捕獲
高知県農協大川支所	協議会構成団体・情報提供等

村内農業者代表（農業）	協議会構成員・情報提供等
村内農業者代表（畜産）	協議会構成員・情報提供等

- (注) 1 関係機関等で構成する協議会を設置している場合は、その名称を記入するとともに、構成機関欄には、当該協議会を構成する関係機関等の名称を記入する。
- 2 役割欄には、各構成機関等が果たすべき役割を記入する。

(2) 関係機関に関する事項

関係機関の名称	役割
特になし	

- (注) 1 関係機関欄には、協議会の構成機関以外の関係機関等の名称を記入する。
- 2 役割欄には、各関係機関等が果たすべき役割を記入する。
- 3 協議会及びその他の関係機関からなる連携体制が分かる体制図等があれば添付する。

(3) 鳥獣被害対策実施隊に関する事項

大川村鳥獣被害防止対策協議会において設置にむけた検討を行い、まずは大川村役場職員のみで実施隊を組織することとした。令和5年度中には実施隊を設置し、事務局は大川村役場むらづくり推進課が担う予定である。

- (注) 1 被害状況を勘案し、鳥獣被害対策実施隊を設置する必要があると認める場合は、その設置に関して設置に向けた基本的な方針や検討の状況、設置予定時期等について記入する。
- 2 鳥獣被害対策実施隊を設置している場合は、その規模、構成等を記入するとともに、実施体制がわかる体制図等があれば添付する。

(4) その他被害防止施策の実施体制に関する事項

特になし。

- (注) その他被害防止施策の実施体制に関する事項について記載する。

7. 捕獲等をした対象鳥獣の処理に関する事項

埋設等により適切な処理を行う。

- (注) 適切な処理施設での焼却、捕獲等をした現場での埋設等、捕獲等をした鳥獣の処理方法について記入する。

8. 捕獲等をした対象鳥獣の食品としての利用等その有効な利用に関する事項

捕獲した鳥獣を食肉として利用する場合は、「食品衛生法（昭和22年12月24日法律第233号）」や「よさこいジビエ衛生管理ガイドライン（平成27年5月（令和4年3月一部改正）高知県）」の内容を参考にする。

- (注) 1 食肉、ペットフード及び皮革としての利用、学術研究への利用等、捕獲等をした鳥獣の利用方法について記載する。
- 2 処理加工施設を整備する場合は、年間処理計画頭数、運営体制、食品等としての安全性の確保に関する取組等についても記載する。

9. その他被害防止施策の実施に関し必要な事項

電気柵については不適切な設置が行われていないか。また、注意喚起の表示がなされているか等の確認を行う。
--

- (注) その他被害防止施策の実施に関し必要な事項について記入する。